

❖□■□■□❖□■□■□❖□■□■□❖□■□■□❖□■□■□❖□■□■□❖□■□■□❖□■□■□
メールニュース 9月号 理研バイオリソース研究センター実験植物開発室
❖□■□■□❖□■□■□❖□■□■□❖□■□■□❖□■□■□❖□■□■□❖□■□■□
2022. 09. 29

このメールは、これまでユーザー登録をされた方、技術研修に参加された方、及び展示会等にて実験植物開発室からのメールニュースを希望された方を対象に送信しています。配信不要の方、配信を希望される方がいらっしゃれば plant.brc@riken.jp までご連絡いただけるよう周知くださると幸いです。

植物培養細胞の新規公開

実験植物開発室では 2022 年 9 月から蛍光タンパク質を発現している形質転換タバコ BY-2 細胞株 3 株の提供を開始しました。細胞株の詳細や写真は Exp-Plant Catalog をご覧ください。

Exp-Plant Catalog :

https://plant.rtc.riken.jp/resource/cell_line/cell_line_list.html?offset=72
理化学研究所の中野明彦先生および伊藤容子先生（当時）より寄託いただきました。

中野先生のご研究「細胞内膜交通におけるタンパク質の選別輸送の研究」には 2022 年度日本植物学会学術賞が授与されております。TBY2-AtRER1B (rpc00042) を含め、ご研究に関連する貴重なリソースを当室より公開することができました。中野先生および伊藤先生に深くお礼を申し上げます。

1. TBY2-31/ST (rpc00091)

GFP によりゴルジ体シス槽および mRFP によりゴルジ体トランス槽がそれぞれ可視化されているタバコ BY-2 細胞株です。液体培地で維持する懸濁培養を提供します。

2. TBY2-41/ST (rpc00093)

GFP および mRFP によりゴルジ体トランス槽が可視化されているタバコ BY-2 細胞株です。液体培地で維持する懸濁培養を提供します。

3. TBY2-R31 (rpc00095)

mRFP によりゴルジ体シス槽が可視化されているタバコ BY-2 細胞株です。液体培地で維持する懸濁培養を提供します。

リソース請求の書類作成や培養細胞の取り扱い方法などのご質問は、どうぞお気軽に plant.brc@riken.jp までお問い合わせください。

| ICAR2023 日本開催(幕張メッセ)

[国際シロイヌナズナ研究推進会議 \(MASC\)](#) において、2023年6月5日~9日に開催予定の第33回国際シロイヌナズナ研究会議 (ICAR2023) 開催計画が承認されました。ご関心のある方はぜひ [ICAR2023 ホームページ](#) を訪問ください。

| アジアのリソース機関の国際会議 (ANRRC2022)

理研 BRC をホストとして、The 13th International Meeting of the Asian Network of Research Resource Centers (ANRRC 2022) を 2022 年 11 月 8 日(火) と 9 日(水) にオンラインで開催します。詳細は [ANRRC2022 ウェブサイト](#) をご覧ください。

❀*:・'° ❀° '・:*:. ❀.:*:・'° ❀。.:*:。.:*❀

理化学研究所バイオリソース研究センター

実験植物開発室 提供係

〒305-0074 茨城県つくば市高野台 3-1-1

TEL 029-836-9067/FAX 029-836-9053

MAIL plant.brc@riken.jp

HP <https://epd.brc.riken.jp/ja/>

バックナンバー https://epd.brc.riken.jp/ja/mailnews/mail_bklist

❀*:・'° ❀° '・:*:. ❀.:*:・'° ❀。.:*:。.:*❀